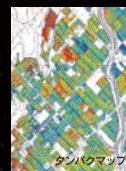


人工衛星が、お米の収穫期を教えてくれる。
そんな時代がやってきました。



富士通は、ITの力で日本の農業の可能性を広げていきます。

広大な水田一面に突っただ稲穂も、一本一本を細かく見ると生育状態は一定ではありません。地上からでは難しい、広域な農地の把握に役立つのが「衛星リモートセンシング技術」です。一般的に、お米はタンパク質の量が少ないほどおいしいと言われていて、富士通は、人工衛星からの画像データを解析し、タンパク質の含有量を水田ごとに細かく把握。お米の生育状態に合わせた最適な時期に、おいしいお米が収穫できるようになりました。また、肥料のムダやムラをなくせるため、生産性向上とともに環境保全にも貢献しています。



富士通の衛星リモートセンシング技術

お問い合わせ先：富士通コンタクトライン 0120-933-200〔土・日・祝日を除く9:00～17:30〕